

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 25 年 6 月 10 日
審査機関名 SGS ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	木質バイオマスボイラの新設プロジェクト
承認番号	JCDM-PJ0092
排出削減事業者名	山梨市
排出削減共同実施事業者名	株式会社 FT カーボン
事業実施場所	山梨市地域交流センター（山梨市上神内川 1229 1）
事業の概要	木質バイオマスボイラー1 基を新設する。木質バイオマスを利用することにより、化石燃料を利用する場合に比べ CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	36tCO2/年（2009 年度） 107tCO2/年（2010 - 2012 年度） （事業実施期間合計 357tCO2）
国内クレジット 認証期間	開始日 2009 年 12 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 A ボイラーの新設

2. 本実績確認の対象期間

2012 年 12 月 1 日 ~ 2013 年 3 月 31 日（第 4 回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画の「モニタリング対象指標のQA/QC」に基づき算定されており、適正であることを確認した。

排出削減量	33t-CO2 (対象期間：2012年12月1日～2013年3月31日)
-------	--------------------------------------

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	<p>1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 4回目のため該当なし。</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働確認 新設された木質バイオマスボイラーは実績確認期間中、継続的に稼働していることをペレット請求書及び関係者へのヒアリングにて確認した。</p>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <p>1) モニタリング方法の確認 承認排出削減事業計画に従って、木質バイオマスボイラーが導入されていること、及び本実績期間において導入設備が稼働していることを、モニタリング対象指標の実績により確認した。具体的には、ペレット供給会社からの請求書を担当者が保管し、そのデータを元に正確に集計されていることを、証拠との突合、検算などにより確認した。</p> <p>2) 活動量の正確性 活動量の採用はない。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が方法論（排出削減方法論について：別表）及び承認排出削減事業計画に従っていることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量は、方法論及び承認排出削減事業計画に従って適切に計算され、算定結果は正確であることを確認した。又、リーケージ排出量は削減量の5%未満であることを確認した。</p>
算定期間が2013年3月31日を超えないこと	算定期間は2013年3月31日までであり、2013年3月31日を超えていない。

5. 特記事項

確認した排出削減量（クレジット量）に担当する再生可能エネルギー量について、熱量換算524GJであることを確認した。

以上